

2014年度スローガン

自分への挑戦

～ 今と未来を切り拓こう ～

JCI 

Junior Chamber International Worldwide

公益社団法人 水沢青年会議所

7

No.601
2014.Jul



夢や将来のまちを語ろう!

水産 まちづくり

広報誌

築く KIZUKU

6月例会

夢や将来のまちを語ろう!

夢サミット

2014 6.21日・22日
会場 正法寺 奥州市水沢区



社会開発委員会 委員長
菅野 博一
(だいもん)

6月21・22日こども夢サミットでは、たくさんの参加協力いただき本当にありがとうございました。皆様のご協力が無ければ無事成し遂げることが出来ませんでした。

まず今回の事業では、超少子高齢化がますます進むであろう岩手の子供たちに自分の生まれ育ったまちを愛していたき将来の夢を描いていただき、その夢をこのまちで叶えるためには、どんなまちなら叶えられるのかを歴史的建造物に触れながら考える事業として社会開発委員会委員一丸となり取り組んでまいりました。私が一番驚かされたのが今の子供達は、私が5・6年生の時に比べこの仕事をしたいなぜこの仕事をしたのかまではっきり答えられる子供達が多いのびびっくりさせられました。2日目の陸前高田で開催したバーベキューでは、子供たちが海で笑い走り回る光景を3年という月日を重ねようやく取り戻すことができました。私たち青年会議所の行う活動は地域を明るくする力があるとこの事業を通し再認識させられました。本当に皆様の協力ありがとうございました。

この事業を検証し11月の事業に繋げてまいりますのでご協力お願いします。



陸前高田青年会議所 理事長
佐藤 彰

震災以降継続している水沢JCとの交流に、心からの感謝と御礼を申し上げます。毎年、子供たちの受入れをしていただいていることはもとより、新たに熱い想いを持った水沢JCメンバーとの交流により、こちらも大変刺激を受けています。今回、水沢・陸前高田JCでは、子供たち同士が夢を語り、それを形にしていくことで、一人では得ることが出来ない経験を積むことができました。また、夢を描く舞台として、この地元にある食材や、歴史あるお寺など、誇れる多くの資源(たから)に触れ、楽しんでいただけたと思います。この経験は将来、大人になった時、外の世界を見つめても、この地域を愛せる人材を育てられたと思います。

千田理事長、高橋副理事長、菅野委員長、多くのJCメンバーのご参加により、私自身、海と向かい合うことができました。子供達が100年先の未来まで語り継ぐことが、多くのご支援をいただいた陸前高田JCの使命と考えています。

来年は、子供達が参加したくなる場所、ゲーム、自由空間を提供したいと思います。今後ともよろしく願います。



夢サミット講師
菅野 和良
(ジェームス)

この度は、こども夢サミット事業にかかわらせていただきありがとうございました。こどもサミットプロジェクトの母体でもあります一般社団法人日本ゆめ教育協会は、夢を発見し発表する講座やイベントの運営や講師育成を行っています。なぜなら、夢を持つことは今を頑張るエネルギーになるからです。こうした活動を全国・世界に広げ、2020年に世界中のこどもたちが夢を発表し合う「世界こども夢サミット」開催が私たちの夢です。

今回この事業に関わらせていただいて感じたことは、こどもたちの夢が多彩で具体的だったことです。アイドルやモデル、お菓子屋さん、綺麗な街、発明家、オリンピックや日本一のスポーツ選手、医者、保育士、幼稚園の先生など。そして、その夢がかなう町のデザインの発表では、発表しているこどもたち以上に大人がワクワクしていました。今回のイベントが、奥州市と陸前高田市の、そして日本の未来に少しでも貢献できていたら嬉しく思います。

